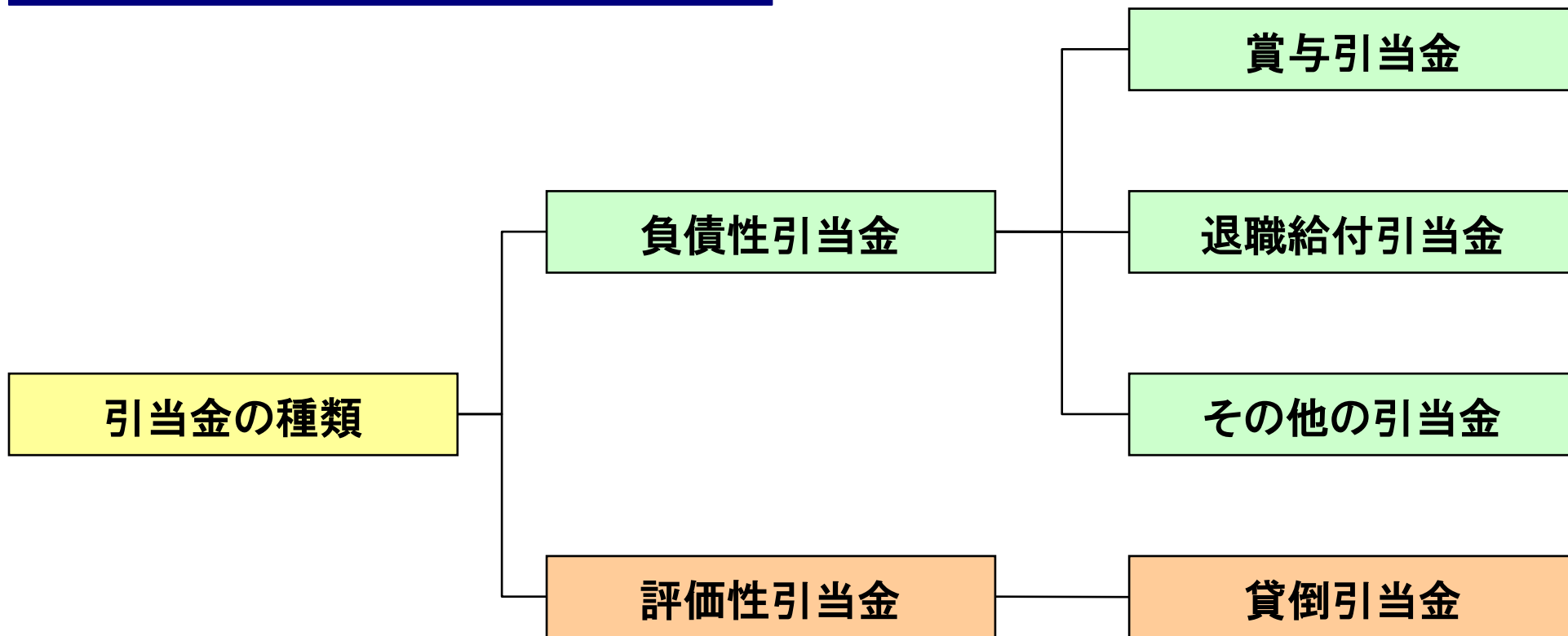


引当金



引当金とは、将来に支出が予想されており、かつその原因が当期中に発生しているものについて、その支出に備えてあらかじめ費用化したものです。

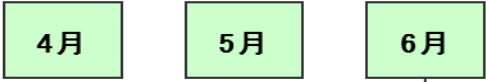
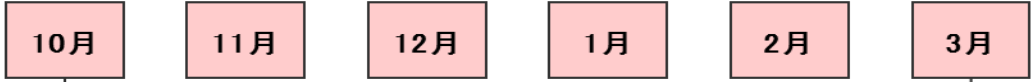
引当金が計上できるためには次の四つの要件が規定されています。

- ① 将来の特定の費用または損失であること
- ② 発生が当期以前の事象に起因していること
- ③ 将来発生の可能性が高いこと
- ④ 金額の合理的見積もりが可能なこと

簡単に言うと、例えば、来期の夏の賞与(7月)は、当期の10月から3月の評価に基づいて支払われます。ということは、来期の7月の賞与の原因は、当期にあることになり、当期の費用となるはずですが、当期では実際の賞与を支払っていません。ですから、来期発生する費用を負債として認識し、当期に引当金として処理するのです。

前期

当期



この期間の頑張りで来年度夏(6月)の賞与が決定

実際の賞与支払い

本来、この期で処理しなければならない費用だが、
実際に賞与として支出していない

現金は当期に出て行くが、
本質的には、前期の費用

この期では、賞与の未払の意味があります

前期の未払に対する現金が支出されます

この期の働きに対するものなので、この期の費用

だから

費用であり、負債なのです。